

# 大東市立歴史民俗資料館 市民学芸員REPORT

第3号

## 「蛍の光」は南郷小学校 水野で生まれ寝屋川で水遊び

「わたしは市民学芸員」三人目の登場は、南郷村に生を受け、根っこを下ろしての70年、上野繁さんです。「私が小学生だったころ」の八頁目「南郷小学校での戦中戦後」もご覧ください

氷野在住  
 上野 繁さん

・たしか上野さんは、ずっと大東市内にお住まいとお聞きしましたが？

中学生の頃は、一時期大阪市内に住んでいたこともありますが、氷野で生まれ、氷野で育ち、現在も氷野に住んでいます。

・当時でしたら、小学校は南郷小学校ですよね？

入学時は「南郷国民学校」でした。昭和二十年、終戦の年でした。当時の学校の事は「わたしが子どもだった頃」に書いたところです。

・小さいころはどんな遊びをしていましたか？

ほとんど外で遊んでいました。寝屋川にかかる橋の上から川に飛び込んだりしていました。水深が浅いで、ちょっと派手なパフォーマンスをしたがる人は怪我

ス（オイカワ）などを釣って楽しんでりと、寝屋川がメイソンの遊び場でした。水はいまよりはきれいだっと思えますが、泳ぐにはどうだったか。昔はみんな抵抗力があったのでしょうか。家の中で遊んでいるということにはなかったですね。

・ほかに小学生の頃印象に残っていることをお聞かせください。

やはり戦争でしょうか。終戦の直前には、あちこち

で空爆が激しくなり、氷野にも焼夷弾が落とされたことを記憶しています。大阪市内で少し大きめの空襲があると、生駒山系の西側に黒い雲が流れつき、そこから黒い雨が降ったことも何回ありました。それから、布施あたりに墜落したB29を見に行き、尾翼の巨大さにびっくりしたことなど、幼い頃なのに、はっきりと憶えています。

・その後の上野少年はどう成長していかれたのでしょうか？

中学、高校、大学とまあ順調に学生生活を送りましたが、高校時代は剣道部でしたが、走ることも好きで、心臓が丈夫だったためか、フルマラソンをしても平気でしたね。大学では、経済を専攻しました。その甲斐あってかどうか、社会人になって株でひと儲けし、その資金をもとに会社を起しました。赤字を出す前にやめて、友人の会社に転がりこんだり：いろいろありました。結局定年退職後も働



わたしは市民学芸員

氷野で生まれ、育ち、ずっと氷野でお住まいの上野繁さん  
 たいま、暮らしそのものが即地域貢献のご様子です

「市民学芸員」とは、応募した市民がその活動のために「講座」を受け、基礎知識を身に付けた、大東市立歴史民俗資料館の専門スタッフです。

昨年五月から本格的に始動し、十二月の特別展「神社探訪・絵馬案内」、今年四月の企画展「大東の風景」にかかわってきました。詳しくは既刊「市民学芸員REPORT」第一号・第二号もご覧ください。只今、来年春の資料館のリニューアルにおかつて鋭意研修中です。



いていましたが(笑)

・ところで、最近はどこなところで活動をされていますか？

二年ほど前まで九年間(氷野)北野神社の奉賛会で活動しました。現在は氷野老人クラブの会長をして  
 次頁の下段につづく

活動一年目に入る  
 市民学芸員



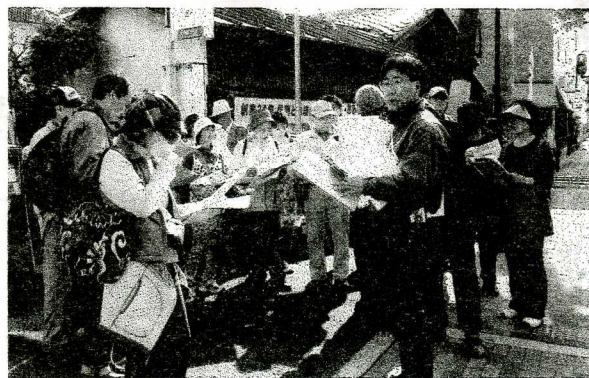
# ウォーキングラリー 大東の風景を訪ねて 4月24日

起点 住道駅前 → 住道北小学校 → 氷野ポンプ場 → 会所橋 →  
住道北商店街 → 新町郵便局前 → ゴール 大東市立歴史民俗資料館

企画展「大東の風景」に関連した催しとして、4月24日(日)住道駅周辺ウォーキングラリーが行われました。上に表示の各ポイントで、お待ちしている市民学芸員が、当時の写真と現風景を比較しながら説明し、町の風景の移り変わりを体感して頂くというものでした。  
ゴールではすべてのポイントを通過した方へ景品をお渡ししての2時間でした。



住道北小学校の校門前です。上の写真は昭和19年ごろで、目の前にすぐ寝屋川の流れが見えます。下の写真は現在の同じ場所のものです



新町郵便局前で説明を聞く参加者。サーティーホール周辺一帯広い範囲が「カネボウ」でした

☆ニ科尔(愛犬も一緒に参加し、今まで知らなかった風景に触れ楽しいひと時でした。  
松井さん(川中新町在住)

## 今後も機会を作ってください おいでになった方の感想

☆孫と一緒に参加しました。カネボウが駅の近くにあんな広くあったとは知りませんでした。今後も気軽に大東を知る機会を作ってください。  
前野さん(諸福3丁目)

表紙1頁下段よりつつく  
います。専ら盆踊りなどの集金  
がメインですが、こんな名刺を  
見せて、怪しまれないよう気を  
付けています(笑)

・氷野老人クラブ会長のほか  
にどんなお世話をしておい  
ですか。(とお聞きする  
と名刺をまた数葉見せてく  
ださいました)

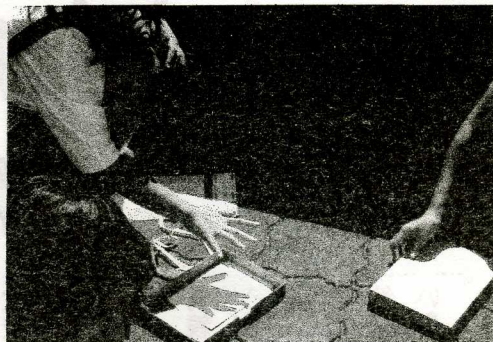
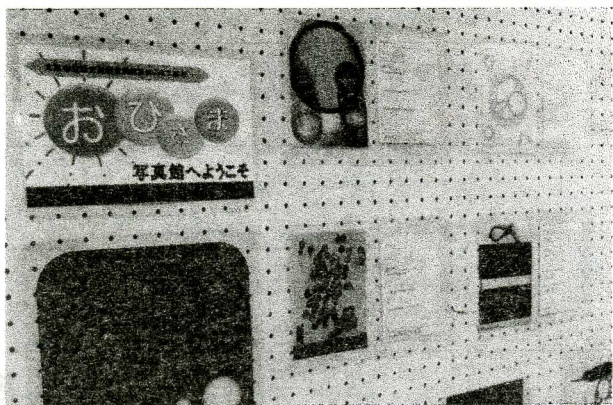
最後に市民学芸員活動につ  
いてお聞きしたいのですが?  
退職して以来、時間に少しゆ  
とりができて、歴史にもいろい  
ろと興味を持てるようになって  
きました。地域に貢献できるよ  
うな活動を続けていきたいと思っ  
ています。

・ありがとうございます。  
これからもよろしくお願  
いします。

日本の赤字国債は深刻だと嘆  
く経済学部出身の上野さん。飾  
らないお人柄で気さくな表情の  
瞳の奥に、凜とした日本人とし  
ての誇りをお持ちの方だとお見  
受けしました。

(聞き手 大西京子)



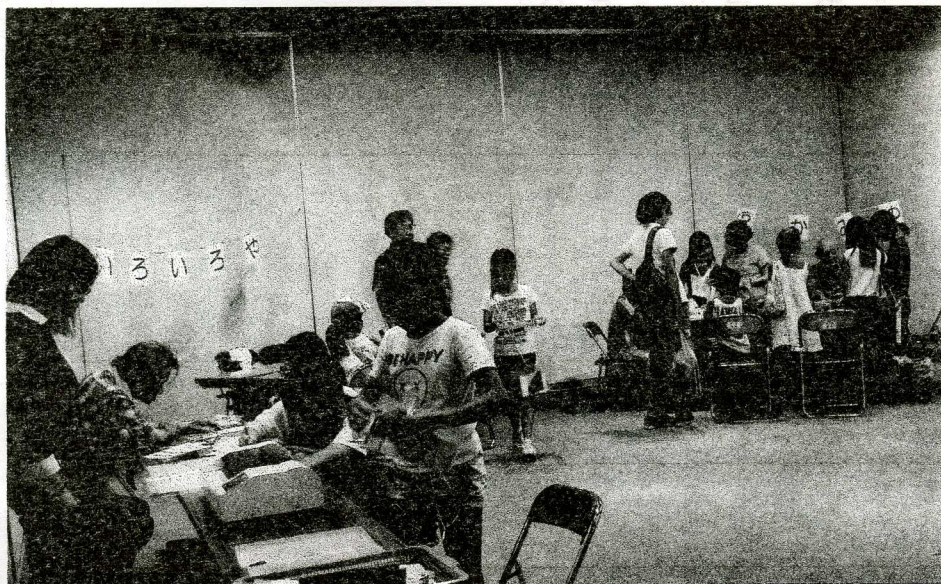


市民の皆さん方の日光写真は7月30日から8月28日まで、歴史民俗資料館に展示させていただきました

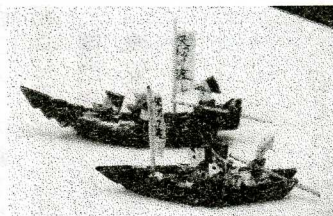
感光紙の上で、おひさまに手をかざして5秒、薄青色の映像が紙に焼き付けられます。

市民学芸員と紙細工 日光写真を楽しむ

7月10日 17日 大東市立歴史民俗資料館



紙細工と日光写真 7月10日と17日、大勢のご家族連れ、子どもさんが来館され、昔懐かしい、子どもさんにとっては初めての遊びを楽しんでいただきました。市民学芸員も一緒に楽しんだのは勿論です。



「紙細工に挑戦」を主として指導していただいた浅野純郎さん。色紙を小さく折って重ねて、つないで、みるみるうちに精巧な紙細工、野崎まいるの舟(上の写真)が出来上がり。

「ご家族そろって真剣に紙細工に挑戦



市民学芸員

# わたしが小学生だった頃

嬉しかったこと 楽しかったこと 淋しかったこと  
伝えたかったこと 他人には言えなかったこと

## 終戦直後の ピカピカの一年生

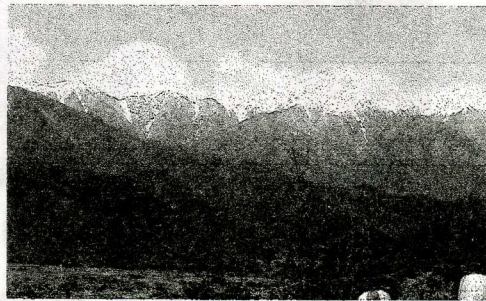
貧しいながら自然を友に

氏原 稔夫 (緑ヶ丘在住)

前号では、市民学芸員にとって懐かしい品々について語ってもらいましたが、今号は小学生時代の思い出です。年齢層から見ると昭和二十年の終戦前後から昭和四十年ごろの間のお話です。  
偶然ですが、何らかのかたちで学校が変わったお話が多くなりました。「転校」は子どもにとって意外に大変な事件なのでしょう。

昭和二十年三月の大空襲から追われ、母親の郷里、松本へ逃れての入学でした。物資欠乏の極みの中での小学校生活。両親特製の下駄と服、ランドセルは、ボール紙製で、雨の日は無論傘がないので濡れての登校、当然直ぐ壊れ、唯一の嬉しいものを失いました。

給食は、各自が持ち寄った食材で、週一回程度「ごった煮汁」「栄養価の判断ができない特異な食べ物」。教科書は国語だけしかなく先輩のお古で「墨塗り教科書」を数人で一冊を囲み学習、授業が終わったら回収、他のクラスと共同使用。他の教科書はなく、先生が黒板に書いたものをザラ紙に、芯が砂まじりの鉛筆で書き写し。教室は電気配線があっても、電球がなく、急ににわか雨で暗くなれば黒板は見えない等、このような教育環境の中で、生来怠け者で勉強嫌いの私には、友人まかせて都合で良かったが、当然学力が付くはずがなく、今日大いに反省しているところです。



信州の安曇野をへたてて望む北アルプス 常念岳

下校時が一番楽しかった。友人と麦畑の中での隠れん坊、小川での、どじょう・タニシ・カニと釣り。柿の木に登って悪戯する上級生の見張り役。あるときは落下した上級生とあわてての逃走。最近までNHKの朝ドラ「おひさま」の舞台となった、北アルプス連峰の大天井岳、常念岳を望みながらの安曇野リンゴ園散

## 姫路市の空襲で 学校・校舎を転々と

為則泰明 (南新田在住)

な村殿のようなものがあって、その前に整列して最敬礼をしてから教室に向かいます。

私は昭和二十年四月、兵庫県姫路市の船場国民学校初等科に入学しました。上級生に引率されて集団登下校、学校の門の前には上級生が二人、木銃を持って衛兵に立っています。南門を入ると右手に「奉安殿」と云う小さな

その年の六月市内東部にあった川西航空機工場が空爆されたのを機に、両親は父の生家があった山村に私たち兄弟を疎開させました。七月三日の夜姫路に二度目の空襲があり、南にある山の稜線の向こう側が火災で真っ赤に染まる様子を祖父の家の縁側から見たのを憶えています。

策(一個くらいは失敬しました)などと、遊びを工夫し、道草で自然をつかみ、貧しいながらも楽しい一年生でした。

第二学期の始まりには、校舎は全部焼け落ちてしまっていましたので、市内の焼け残った学校を借りて午前と午後の二部授業だとか、企業の社員寮を借りての授業でした。先生たちも随分苦労されたと思います。

最も楽しかったのはお城の南側の元陸軍第46部隊の兵舎跡での授業で

次頁につづく



